

2019年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(2019年5月～2019年11月初旬)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
5月12日	日	13:30～15:00	れきはく寄席 怪談と妖怪の落語を楽しむ	新潟大学 落語研究会	江戸時代に成立した大衆芸能である落語にも妖怪ブームが大きく影響しており、多くの幽霊や妖怪が登場します。新潟大学落語研究部による落語を楽しみながら、江戸時代の妖怪ブームに思いをはせてみませんか。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
5月18日	土	13:30～15:00	国際博物館の日記念 これからの博物館を考える	山本 哲也	かつて、博物館学者・伊藤寿朗は、博物館の第三世代論を打ち立て、博物館のあるべき姿を描きました。では今博物館はその第三世代となっているのか、さらに第四世代とは何か、これからの博物館が求められるものとは何か。それを社会的包摂、負の遺産など、現代社会における課題をもとに考えてみます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
5月19日	日	13:30～15:00	春季企画展・記念講演会 浮世絵のなかの妖怪たち	香川 雅信 (兵庫県立歴史博物館学芸課長)	江戸時代、浮世絵をはじめとして、絵双紙やカルタ、おもちゃ絵など様々な娯楽に登場した妖怪たち。江戸時代の妖怪ブームによって、妖怪が人を怖がらせる存在から人を楽しませる存在に変化した様相に迫ります。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
6月1日	土	13:30～15:00	氷河期末のハンターたち	橋詰 潤	約16000～11500年前の氷河期の終わりに、地球の環境は寒暖が大規模かつ急激に変化することを繰り返しながら、現在と同じ温暖で安定した環境へと移りかわっていきました。この時期に生じた日本列島に生きた人々の狩りの方法や道具の変化と、その背景としての環境変動について紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
6月15日 6月29日 7月6日 7月13日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～古文書読解のツボ～ -全4回-	田邊 幹	古文書を読めるようになっていただくことを目的に、古文書の読み方の基礎(ツボ)を紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
7月20日	土	13:30～15:00	外国商人の戊辰戦争損害賠償をめぐって	西田 泰民	戊辰戦争時に新潟に店を構えていた外国商人たちは上陸した官軍によって商品の分捕りにあいました。彼らはその損害賠償を明治政府に対して求めます。明治政府、また新潟の役人はその訴えにどのように対処したのか、外交史料館の文書に探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
7月27日	土	13:30～15:00	夏季企画展・記念講演会 文化財の保存と活用 —近年の古文書指定から	藤田 励夫 (文化庁文化財第一課主任文化財調査官)	「新たな国民のたから-文化庁購入文化財展-」の記念講演会です。近年の古文書指定を中心に文化財の保存と活用のありようなどについて、文化庁文化財第一課・主任文化財調査官の藤田励夫先生にご講演いただきます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
8月4日	日	13:30～15:00	体験型講座 博物館の うらがわ探検ツアー	三国 信一	「博物館の裏側はどうなっているの?」「どんな仕事をしているの?」、ふだんは見ることができない博物館のバックヤードを探検します。	小学生 中学生 親子	15	研修室 館内施設	—	電話、葉書、FAX、メール
8月10日	土	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	体験型講座 自分の指のレプリカを作ろう	山本 哲也	レプリカって何?なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの?...そんな質問がよく聞かれます。実際に自分の指のレプリカを作る作業をとおして、レプリカというものを考えてみます。	親子優先 一般も可	各回 20	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
8月17日	土	13:30～15:00	体験型講座 作ってみよう 「本格まが玉」(夏の部)	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い青田石(せいでんせき=硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。基本は「保護者と小学生以下の組み合わせ」で複数名での参加を原則とします。申し込み状況により、一般の参加も可能です。	親子優先 一般も可	30	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
9月7日	土	13:30~15:00	シリーズ「まつり」連続講座① 古代のまつり	浅井 勝利	古代の国家事業として行われた様々な「まつり」について概観します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月14日	土	13:30~15:00	岩宿遺跡の発見と 日本列島最古の時代	橋詰 潤	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展「あ、コレ知ってる！はにわ、どぐう、かえんどのきの昭和平成」と連動して、群馬県岩宿遺跡の発見と調査によってその存在が明らかとなった、日本列島最古の時代である旧石器時代について紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
9月22日	日	13:30~15:00	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展 記念講演会 縄文ゲノムからみた日本人	太田 博樹 (北里大学 医学部准教授)	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展「あ、コレ知ってる！はにわ、どぐう、かえんどのきの昭和平成」の記念講演会です。 日本史の冒頭に登場する考古資料、中でも縄文土器を残した人びとについて、古人類に関するDNA分析による最新研究成果を紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
9月28日 10月5日	土	13:30~16:00 ※開催時刻注意	体験型講座 ループ組紐入門(全2回)	友の会分科会 絲の会	ループ状の糸を指と手のみで組む伝統組紐技法は、正倉院宝物や武具の紐に用いられました。その技法を体験する講座です。当館売店にて販売する「ループ組紐体験キット」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて500円での販売予定)	一般 親子	15	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
10月12日	土	13:30~15:00	はにわとどぐう・オリンピックとバンパク	宮尾 亨	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展「あ、コレ知ってる！はにわ、どぐう、かえんどのきの昭和平成」秋季企画展と連動して、特に日本の現代史をいどった国際的祭典オリンピックとバンパク・埴輪(はにわ)と土偶(どぐう)とのかかわりを中心に紹介します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
10月13日	日	13:00~16:00 ※開催時刻注意	映画上映会 & 山岡信貴 監督らのトークショー	山岡信貴(映画監督) 菅田亜紀子(どぐう女子) 望月昭秀(フリーペーパー 縄文ZINE発行者)	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展「あ、コレ知ってる！はにわ、どぐう、かえんどのきの昭和平成」の関連イベントです。 2018年に公開され評判になった映画「縄文にハマる人々」(103分)の上演と本作の監督山岡信貴さん、どぐう女子菅田亜紀子さん、フリーペーパー縄文ZINE発行者の望月昭秀さんを迎えてトークショーを行います。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、FAX、メール
10月19日	土	13:30~15:00	シリーズ「まつり」連続講座② 考古資料とマツリ	宮尾 亨	考古資料の中には一定数、マツリにかかわるモノがあります。マツリにかかわると考えられるモノについて考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
10月26日	土	13:30~15:00	縄文土器の材料をさぐる	西田 泰民	縄文土器をつくるためには粘土を採取し、粘り気を調整したり、焼成の破損を防ぐための混ぜ物を用意する必要がありました。土器材料にはどんな工夫がされていたのか、また土器はどこで作られたのか。研究の現状をお話します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール
11月2日	土	13:30~15:00	考古資料と昭和平成	宮尾 亨	第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭 特別展「あ、コレ知ってる！はにわ、どぐう、かえんどのきの昭和平成」と連動して、考古資料のひとつ縄文土器が世間で知られるようになった背景や経緯を考古学研究史を主体として考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課
TEL: 0258-47-6135 FAX: 0258-47-6136 メール: koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

